

# 来年度予算に望む

田中善和さん(鳥原・29歳)は「公共下水道を進めるべきでは」と言います。

浄化槽の点検という自分の商売のことを言わなければ、そろそろ公共下水道を進めるべきでは。ただ、それをやるとなると、利用者以外と負担がかかるので、最初の工事費用とか使用料金の試算をちゃんと出して、判断材料として町民に知らせてほしいですね。



阿部トキさん(立仏・68歳)は「河川敷の代わりのゲートボールコートを」

河川敷公園のゲートボールコートが来年から使えないんだそうです。各地域に小さなコートはありますが、大きな大会などのために、体育館前の空地をかわりのコートにしてほしいです。日にあたって運動するのが、年寄りには大切なことなものですから。



「黒崎再発見ツアーなんてのをやっては」と藤井ゆかりさん(八区・27歳)

図書館をよく利用しますが、ちょっと狭いようです。二階をつけたらどうでしょう。それから自転車が好きで、町内をよく走ってみるんですが、意外と知らないことがあるようです。再発見ツアーなんてやってみたらどうでしょうか。



1989  
11  
No 314

## くるさき

あなたと町をなく  
報 広

「やるべきことは思いきってやるべき」と本間俊次さん(上山田・70歳)

予算の使い方ということになる、やるべきところには思いきって予算を上げて、住民の要望にこたえてもらいたいですね。特に道路とか下水道など、生活に直接結びついたものに、その必要があるのではないのでしょうか。山田などは特に道路が狭いからね。



「カギツ字をあずかる施設の検討を」と梅津フサ子さん(寺地本村・56歳)

今の若い夫婦には共働きが多いです。それでいわゆるカギツ字が増えているようです。ですから新潟市にある「ひまわり学園」みたいな、子供をあずかってくれる施設を検討してほしいです。老人優先もいいますが、未来をなうのは子供たちなのですから。



「町にもっと活気がほしいね」と大縫敏夫さん(木場・34歳)は言います。

亀田町と似たような位置にあるのに、黒崎には大きな店もないしさびしいような気がする。人口だけは増えているのに、観光物産センターとかができるのは、町に活気が出ていいんじゃないかな。ほかにも、町に活気をあたえるようなことを町は考えてほしい。

